

## 「働き方改革」講演会 登壇者プロフィール

### ●若原 強(わかはら つよし)



東京大学工学部、同大学院工学系研究科修了後、SIer、戦略コンサルティングファーム、広告代理店、事業会社を経て2019年トレジャーデータ株式会社入社。同社エバンジェリストとしての活動を通じ、データを活用した社会変革の拡大に従事。前職の事業会社(コクヨ株式会社)時代には、働き方のR&Dであるワークスタイル研究所の所長を務め、これからの働き方・暮らし方のトレンドにも明るい。自身の働き方実験として立ち上げたコンサルタント事業も3期目を迎え、パラレルワーカー(複業家)としても活動中。TV・新聞・WEB・講演等での露出多数。

### ●本庄 加代子(ほんじょう かよこ)



東洋学園大学 准教授。専門は経営学(マーケティング/プロジェクトマネジメント)。現在「大学教員」「研究者」「コンサルタント」「大学院生」「母親」というパラレルキャリア\*を苦勞して歩んでいる(\*ドラッカーが提唱し発展した家庭×仕事×自己学習×社会貢献という生き方)。働き方改革とQOL(人生の質)、婚姻との関係性など制度と価値観の変化について探求し、次世代を担う大学生と日々議論を重ねている。慶應義塾大学大学院修了後、コンサルティング会社を経て現職。関連著書「働き方改革への戸惑いと新たなマーケティングチャンス」(2018.4 日本マーケティング協会)

### ●箕浦 龍一(みのうら りゅういち)



総務省行政評価局総務課長。前職で取り組んだオフィス改革を中心とする働き方改革の取組は、人事院総裁賞を受賞(両陛下に拝謁)。

ICT革命や現代人の価値観の変化、社会像の変化の下で、我が国の国際競争力を回復するには新たな「世界観」が必要であるとして、全国で「令和の啓蒙活動」を展開。

小規模基礎自治体との短期交換留学を展開するなど、省内にとどまらない公務部門の人財育成に取り組んでいる。

### ●原山 幸一郎(はらやま こういちろう)



総務省入省後、公務部門における朝型勤務の推進、オフィス改革の展開や業務の標準化など人事・総務領域から組織変革を支援。昨年、様々な対話をもとに組織文化の類型を整理し、「これからの組織やチームについて:序」として、ある雑誌に寄稿した。

最近改めて注目しているのはOKR(Objectives and Key Results. 目標と主要な結果)の考え方で、公務部門における実践の可能性を研究している。